

令和7年度(2025年度)
日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会(共催:物理探査学会)

研究発表会プログラム

日時:2025年7月1日(火) 13:30~17:09

開催形式:対面・オンライン併用

13:30 ~ 13:35 開会挨拶(趣旨説明)

13:35 ~ 13:38 オンライン接続等調整時間

13:38 ~ 13:49 【現場報告発表】

1. 湿雪雪崩を伴う土砂流出を生じた地区の斜面での融雪期における融雪水等の地盤浸透過程の観測

○岡崎健治1、川又基人1、吉野恒平1(1寒地土木研究所)

13:50 ~ 14:06 【一般発表】

2. 複雑な岩相変化を示す新第三紀溶岩・火砕岩類の連続性検討ーダム調査における20 m間隔でのボーリング調査事例ー

○高橋直希1、西塚大1(1株式会社ドーコン)

14:07 ~ 14:36 【特別発表】

3. 泥火山と破碎泥岩:応用地質学的意義と課題

○田近淳(株式会社ジオテック)

14:36 ~ 14:45 休憩

14:45 ~ 15:01 【一般発表】

4. 地すべりを対象とした防災カルテ点検における「着目すべき変状」に関する分析

○川又 基人1、日外勝仁1、坂本 尚弘1・2(1寒地土木研究所、2現:北海道開発局)

15:02 ~ 15:18 【一般発表】

5. 北海道自然災害史研究ワーキンググループ(第2期)の活動成果と今後の課題

○倉橋稔幸1、北海道自然災害史研究ワーキンググループ2(1寒地土木研究所、2北海道支部及び北海道応用地質研究会)

15:19 ~ 15:48 【特別発表】

6. カリブ海の小国 セントルシアにおける防災・災害対策支援活動報告

○太田雄三(株式会社構研エンジニアリング)

15:48 ~ 16:00 休憩

16:00 ~ 16:16 【一般発表】

7. 三重県 of 古琵琶湖層群および東海層群の下部鮮新統における淡水珪藻化石層序

○小島隆宏1、齋藤めぐみ2、大塚泰介3(1 北海道立総合研究機構・筑波大学、2 国立科学博物館、3 滋賀県立琵琶湖博物館)

16:17 ~ 16:33 【一般発表】

8. 地すべり変位検出に向けたInSAR処理フローの提案

○宇佐見星弥1・2、田殿武雄2・3、石丸聡1(1北海道立総合研究機構、2北海道大学情報科学
院、3宇宙航空研究開発機構)

16:34 ~ 17:03 【特別発表】

9. これから海域調査に携わる人のために

○内田康人(北海道立総合研究機構)

17:04 ~ 17:09 閉会挨拶(総括)

17:20 ~ 18:50 意見交換会(優秀講演者表彰) 会費2,000円(発表者1,000円)

※ 6月28日(土)頃より講演要旨のダウンロードが可能となる予定です。詳細は日本応用地質学会北海道支部ホームページ(<http://www.jseg.or.jp/hokkaido/index.html>)をご覧ください。

※ CPD の受講証明につきましては日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会より発行します。